

内蔵助カール～内蔵助平～黒四ダム

201310.2～3 Sさんと

長年の懸案のコースをようやく歩けました。一般登山道なのに、何故かネットには情報が掲載が無く、富山県警の山岳担当者に聞いても「当隊員も誰も歩いた者がいないので登山道の状況は不明です」との回答。故になかなか歩けなかった日く付きのコース。当初予定は9/8～9だったが天候で10/1以降に延期になっていた。10/6～8には別の登山の約束もあり、決行しました。10/3夜中には台風は通過して天候は2日間良さそうとの判断で。2日は劔岳の山頂部分に雲があるのみの好天でしたが、3日は朝から霧雨でした。長野県側の下のローカ（旧日電歩道）～黒四ダム間の登山道は降雨の気配が無く乾いていました。どうも新潟～富山県側の天気はいやらしいです。

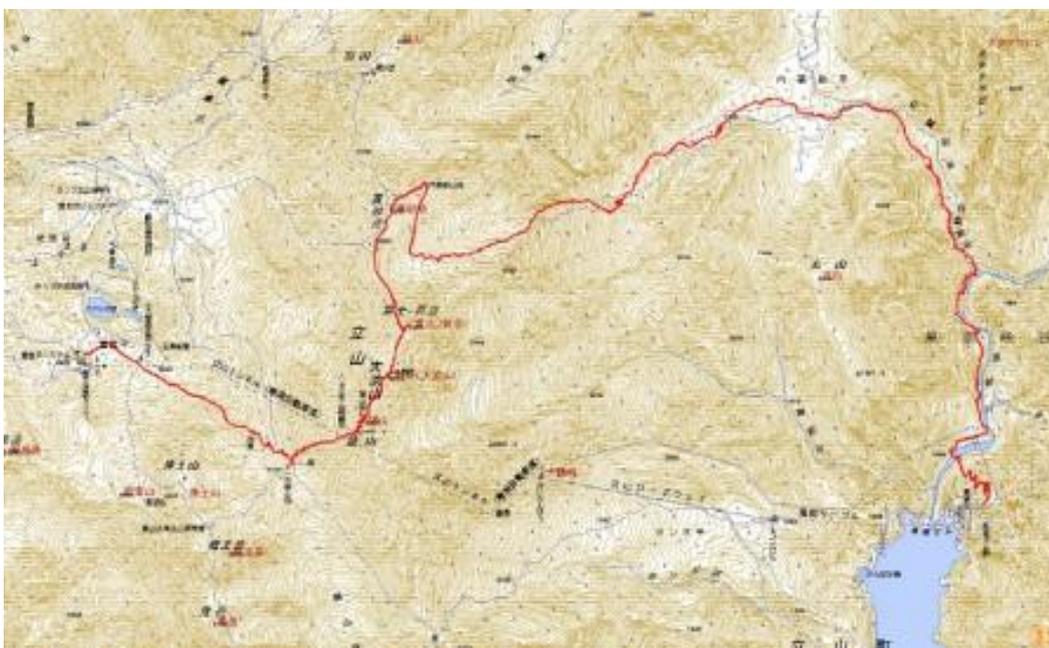
10/2（水）晴れ 扇沢駅 7：30～トロリーバス・ケーブルカー・トロリーバス乗継～9：25

室堂駅 9：30～10：30 一ノ越山荘 10：45～11：35 立山 12：00～12：25 大汝山（昼）
12：41～富士の折立～真砂岳～13：52 内蔵助山荘（泊）宿泊者9名。

10/3（木）霧雨のち曇り 6：40～9：45 岩屋（昼）10：30～10：50 内蔵助平分岐～12：40

旧日電歩道分岐 12：55～13：55 黒四ダム下～14：34 黒四ダム 14：35～14：50 扇沢駅
～入浴～16：25 帰宅

10/2 天気予報は微妙だが扇沢駅に向かう時は素晴らしい快晴！黒四ダムからは赤牛岳～水晶岳が見える。水晶岳は「黒岳」とも言われるだけあって真っ黒な山だ。



ダム下は明日下山時に歩く所が見下ろせる。黒部平駅からの立山方面の紅葉は最盛期で綺麗！ 針の木岳～鹿島槍ヶ岳～五竜岳の展望も素晴らしい。

黒四ダム



赤牛岳～水晶岳方面



明日の下山道方面



ケーブルカー



黒部平からの立山方面



黒部平にて



大観峰からは何時か歩きたい未踏のルートである、一ノ越山荘～東一ノ越～ロッジ黒四の登山道が良く見える。紅葉期に歩くと良いとの事だ。乗り物代の節約も兼ね一石二鳥のルートだと思うのだ

が歩く人は少ないようだ。室堂付近はカメラマン・観光客・ハイカーが目立つが平日で少な目。一ノ越まではコンクリート道。山荘のトイレは足踏みを踏むと水が流れるようになっている珍しい物。ここから立山までは急で歩きズライ道。ペンキ印も少ないので、登山道が幾つもできている。百名山以来の立山は懐かしい。

立山から奥大日岳と大日岳。下は室堂・みくりが池



立山山頂



期間外で山頂は無料で入れた。見下ろす室堂方面は箱庭のような芸術的な美しさ。草紅葉の真っ最中。奥大日岳～大日岳がクッキリ見える。共に登った山なので懐かしい。残念ながら大好きな劔岳は最後まで全容を見せてくれなかった。山頂付近のみガスの中で。大汝山・富士の折立とも山頂を踏み、残雪の多い内蔵助カールを見おろし、残雪の多い真砂沢を見下ろす内蔵助山荘に到着。新築された小屋であり、今職人さんが2人で水洗トイレの工事中だ。立地条件の関係で宿泊者は少ない小屋だ。展望を楽しんだり、ユックリ空いた小屋で泊まりたい人向きだ。

富士ノ折立



Sさんと缶ビール・菊水ふなぐちで話が進む。彼も難聴者だが比較的会話はスムーズにできるので。19:30には就寝。夜中に暑くて目が覚める。毛布をどかした。暑い秋だ。



10/3 朝から霧雨。今日のコースは年間200人位が利用するのみと小屋の親父が説明してくれた。ペンキ印が沢山ついて、電気コード？が張り巡らされた迷いようが無い登山道を下る。カールの残雪を通過する時は100M位ではあったが水気を帯びて凍っているののでつるつるで滑るのでストックの力でやっと通過。旧内蔵助山荘跡は石積みされた跡がハッキリ分かる。大きな釜もそのまま置いてあった。1時間位下った所でペンキマークと電気コード？は終わっていた。その先は昔のペンキマークのみだが踏み跡はシッカリついているので迷うことは無いです。

雪溪.横断



ただ急な箇所も多く途中にはロープが合計30本はあったと思います。(日電歩道に出るまでに) 梯子は5か所位。(今日のコースは下りのみで標高差1540Mあるので仕方が無い) 霧雨で展望が効かないのですが、晴れていれば紅葉を含めて素晴らしい展望のコースと思います。やっと岩屋に到着、少し早いですが昼食にする。カップラーメンとパンと暖かい飲み物で。少し下ると昨年9月に歩いたハシゴ谷乗越からの道と合流する。懐かしい！あの時も雨だった。此処から先は、昨年歩いた道なので様子が分かっているので精神的に楽。

岩屋で休憩



途中で本日ただ一人の登山者とすれ違う。(日電歩道では1組に追い抜かれたが) 今日真砂沢ロッジでテント泊予定で明日は剣岳登山と言っていた。帰路にアルペンルートを使うなら往路で使えば標高差から言って楽だと思うのだが。かなりのザックを背負っているし。彼は雨具を着ていなかった。(その理由は後で分かったが、日電歩道は乾いていて雨が降った形跡がなかった) 天気予報も長野県には雨マ

ークが無かった。日電歩道はもみじの紅葉のみ(紅一点) 気温が下がらないので紅葉はまだ。

表示あり



下の廊下



最後のダム下からダム駅への登りがこのルートのいやな点だ。ダム駅に着くとすぐトロリーバスがあり乗れる。何時もの「上原の湯」で入浴し帰宅。コースタイム6時間だが少し厳しい時間設定と思う。足場の悪い所もあるし。そう言えば日電歩道の分岐点には「真砂岳へ4. 2時間」と書かれた看板があった。ふざけんな！歩いて見せろ！と言いたい。昭文社の地図では6:30であるが。いい加減な案内表示は事故の元の筈であるが。ともあれ、長年の懸案事項が一つすんだ。同行してくれたSさんに感謝です。